

## 1 概要

本校は、昭和24年4月に大阪市立生活科学研究所附設栄養学院として創立された。

当時は、終戦直後の混乱期で、極度の食糧不足により市民の栄養状態は非常に悪く食生活の管理や向上に携わる栄養改善のための指導者の養成が急務であった。そのため創立時は、厚生大臣指定の栄養士養成施設として1年制でスタートしたが、昭和25年4月に栄養士法の改正に伴い2年制となった。また同年9月には、研究所の改称により衛生研究所附設栄養学院となった。

その後、昭和49年12月に研究所の新築移転、改称に伴い、本校も環境科学研究所附設栄養学院と改称した。

昭和51年に学校教育法が一部改正され専修学校制度が発足し、本校は同年12月に文部省令による認可(専門課程)を受け、昭和52年4月から大阪市立環境科学研究所附設栄養専門学校と改称し、現在に至っている。

また、専修学校の専門課程の修了者に対する専門士の称号の付与に関する規定(平成6年6月21日文部省告示第84号)の制定に伴い、本校課程を修了した者に対して、専門士の称号を授与することが認可(平成7年1月23日文部省告示7号)されたので、平成7年3月卒業生から専門士(衛生専門課程)の称号を授与することとした。

本校創立以来、平成21年4月で60周年を迎えたが、その間にわが国の社会・経済情勢は大きく変化し、食生活をめぐる状況も食糧不足の時代から供給過剰時代へと著しい変貌を遂げた。その結果、国民の体位は改善され、平均寿命に関しては世界のトップになった。しかし、その反面、過剰栄養や栄養のアンバランスに起因する生活習慣病や肥満などの増加や、朝食の欠食、不規則な食事などの食生活習慣の問題が生じ、人びとが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむための食育を推進することが重要となってきた。本校は、このような生活環境の変化に対応しうる食生活の指導者である栄養士を養成するために、不断にカリキュラムの見直しを行い、その時代の要請に即応した専門知識、技能及び、教養を修得させる教育を行ってきた。

また、学校教職員は、健康指標からみた食生活調査や栄養改善のための基礎資料となる研究を行うと同時に、行政機関が主催する各種講習会に講師とし

て参加し、地域住民等への正しい食生活、栄養知識の普及啓発に当たっているほか、栄養士等の卒業教育にも力を注いでいる。

なお、本校は、平成25年度末をもって廃校となることとなった。

## 2 業務および行事

### (1) 入学式

平成24年4月5日に、第64回入学式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。新入生は34名、第2学年に進級した者(第63回生)は29名で、在籍者は復学者等を含め67名になった。

### (2) 修業

前期授業 4月9日から7月13日まで  
 前期試験 7月19日から7月27日まで  
 後期授業 10月1日から1月21日まで  
 後期試験 1月28日から2月8日まで

### (3) 卒業式

平成25年3月11日に第63回卒業式を環境科学研究所2階大会議室において挙行了。卒業生は30名で、学校創立以来の卒業生総数は2,397名となった。

### (4) 校外実習および見学

この実習および見学は、栄養教育および給食管理の実際を実地に修練し、また教育課程に関連した施設を実際に見ることによって、栄養士として具備すべき知識および技能全般を体得させることを目的としている。

#### ア 校外実習(臨地訓練)

厚生労働省の実施基準では、給食管理として学校・事業所において1単位以上とされているが、本校では、2年生を対象に臨床栄養学実習、公衆栄養学実習、給食管理実習として病院2単位、社会福祉施設1単位、市立小学校1単位の臨地訓練を行った。

実施に際しては、学生を数名ずつのグループに分けて実習先に配属した。実習終了後、報告会で発表させ、さらにレポートを提出させた。

#### (ア) 学校実習(平成24年6月18日から6月22日まで学生出身校8校、大阪市内小学校9校において29名)

平成23年度から、学生の出身小学校等に受入を

依頼したところ、8校の承諾を得た。残りの学生は例年通り市内の小学校に依頼した。

(出身校等:9名)

京都市立吉祥院小学校、堺市立浅香山小学校、堺市立はるみ小学校、高槻市立郡家小学校、高槻市立清水小学校、忠岡町立東忠岡小学校、枚方市立津田南小学校、八尾市立高美小学校

(大阪市内校:20名)

真田山小学校3名、小松小学校2名、北鶴橋小学校2名、平尾小学校2名、巽東小学校2名、堀川小学校2名、開平小学校2名、矢田北小学校3名、諏訪小学校2名

(イ) 社会福祉施設・保育園・保健福祉センター実習(平成24年8月6日から8月10日まで15施設において29名)

ひまわりの郷2名、おとしよりすこやかセンター西部館2名、香里寿苑2名、加寿苑2名、玉出東保育園1名、ひかり学園1名、めぐみ保育園1名、山之内保育園2名、こひつじ乳児保育園2名、博愛社保育園1名、たちばな保育園1名、聖浄保育園1名、北区保健福祉センター4名、東淀川区保健福祉センター3名、東住吉区保健福祉センター4名

(ウ) 病院給食実習(平成24年8月27日から9月7日の間で10日間、12病院において29名)

(独)大阪医療センター4名、貴島中央病院2名、日生病院2名、住友病院2名、大阪赤十字病院4名、枚方公済病院2名、京都桂病院3名、東朋香芝病院2名、大阪市立大学医学部附属病院2名、市立総合医療センター2名、市立十三市民病院2名、市立住吉市民病院2名

イ 施設見学

平成24年度に実施したものは次の通りである。

- ◎「国立民族学博物館」(千里万博公園)見学(平成24年5月1日=1・2年生)
- ◎「アサヒビール吹田工場」「サントリー山崎蒸留所」見学(平成24年12月14日=2年生)
- ◎「京都市水族館」見学、「甘春堂」(京都市)和菓子作り体験、「上林春松本店」(宇治市)見学(平成25年3月12日・13日=1年生)

(5) 栄養教室

学生が日頃学んでいる教科や学習の内容を学生のご家族の方々に理解していただくと共に、栄養の

知識を普及し、栄養指導の実践を体験してもらうことを目的に「栄養教室」を開催した。

「米・再発見!」と題して、米本来が持つ今まで知っているようで知らなかった魅力を伝え、今一度米を中心としたバランスのよい食生活を見直していただけるような内容で、平成24年11月2日(金)に栄養指導を行い、昼食には「お米が主役の霜月御膳」と題した献立を提供した。また、11月3日(土)には学校の近くにある桃陽小学校の児童とその保護者に対して米粉を使った親子教室を行った。



写真 お米が主役の霜月御膳

(6) 特別研究(食育に関する研究)

平成23年度に入学した学生より、これまでカリキュラムの特別研究として実施していた卒業研究を廃止し、1年前期から2年の後期のすべての期間を使って、食育に関する研究を特別研究の授業として行うこととした。

1年生は、12月に実施する保育園や幼稚園の園児に対する食育活動に向けて、食育に関する講義を受けた後、食育に用いる教材の作製、園児に見せる劇のシナリオやクイズの作成などの準備作業を行い、下記の日程で、食育活動を行った。

○保育園児対象の紙芝居や創作劇

学生が保育所及び幼稚園に出向き、3・4・5歳児を対象に各年齢別に食育に関する紙芝居や創作劇を行った。

1. 平成24年12月10日、日の出さなだやま園3歳児28名、4歳児30名、5歳児27名
2. 平成24年12月10日、キッズコート天王寺4歳児16名、5歳児18名
3. 平成24年12月11日、味原幼稚園3歳児20名、4歳児21名、5歳児24名
4. 平成24年12月12日、四天王寺夕陽丘保育園3歳

児29名、4歳児30名、5歳児30名

○保育園児対象の調理実習

保育園5歳児が来校し、調理室において調理体験を行う。実習中に、栄養についての話やクイズ等の食育活動を行った。

1. 平成24年12月11日午後、日の出さなだやま園園児13名
2. 平成24年12月12日午後、日の出さなだやま園園児14名
3. 平成24年12月13日午前、天王寺保育所園児9名、午後、同9名
4. 平成24年12月14日午前、味原保育所園児13名、午後、同14名

その後、各活動について報告会を開催した。



(7) 食育活動

平成24年12月8日(土)に、阿倍野区主催の健康づくりイベントに出展した。

平成25年2月21日(木)に、イオンモール鶴見緑地店にて行われた、大阪市・イオンリテール(株)主催の食育キャンペーンに出展した。

平成25年3月15日(金)・16日(土)に、一般市民を対象に「栄養セミナー」を開催した。お米マイスターを招いた米についての講演の他、米食についての展示を行った。参加者は、15日60名、16日53名であった。

(8) 入学試験

学校閉校に伴い、入学試験は、実施しなかった。

(9) 第63回卒業生の就職状況

平成25年3月11日に卒業した30名の就職状況は次の通りである。

◎ 栄養士として就職した者	27名
(内訳) 病院(官・民含む)	8名
社会福祉施設	17名
試験・研究室	1名
その他	1名